



今 回の展覧会は二紀会に所属している増田力也さんの4回目の絵画展です。展示は大作がたくさん並ぶ中にアクセントで小品が入り、迫力がありながらもバランス良くまとまっています。

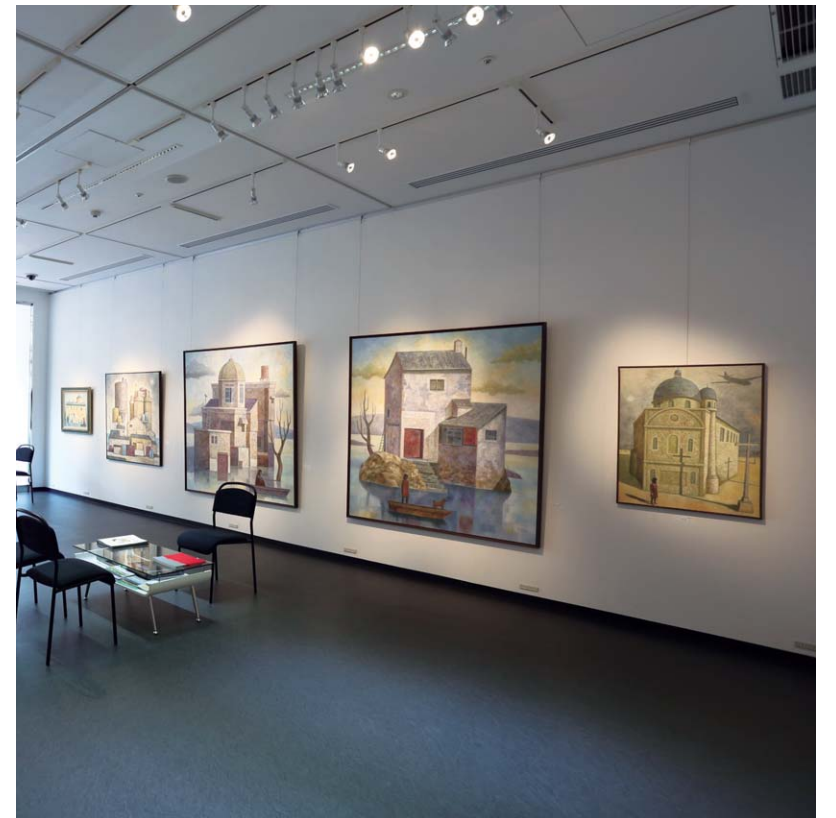
増田さんの作品は色がグラデーションのように細かく移り変わるように描かれているのでとても穏やかな印象です。それに対し構図はシンプル、そして建物は正確に描かれているのでスッキリとして見やすい作品です。

モチーフには家や工場といった建物と、その周りの風景を描かれています。建物の背景には空や遠くの方に地平線が、周りにはまるで湖のように水が貼っていたり大地が広がっています。

建物の前には舟に乗って漂流する人や大地に佇んでいる人が描かれていて、その人達は遠くを見つめていたり、静かに佇んでいたりと、祈ったたりしています。この人達が何を思い、これからどうするのか。作者の思いやメッセージが感じられる作品でした。

今回の作品は、どれも昨年開催した個展から一年間かけて描かれたものですが、その中には今までと同じテイストの完成度が高いものと、次に繋がっていくような新しい挑戦のものがありません。

新しいスタイルの作品は、他と比べると色彩のメリハリが強うつけられ、建物がより大きく強調して描かれています。これからの展開が楽しみな展覧会でした。



第4回
増田力也展

2014.4.10(木)～4.15(火)
AM11:00～PM7:00(最終日PM4:00)

